



トリック窃盗犯防犯ア ドバイス



保身方法。スリを泣かせましょう。

貴重品は体に密着させて持ち運んで下さい。ハンドバッグ強盗、トリック窃盗犯は混雑の中でそれとなくボディタッチを用いて被害者の注意を逸らし、うっかりした隙を狙います。

現金、キャッシュカード、身分証明書は別々に保管してください。お札入れ/財布ごと盗まれると高くつきま
す（金銭的、時間的、精神的な消耗）。

貴重品、携帯電話、デジタルカメラは、ボタンやファスナーを閉められる洋服の内ポケットが一番安全です。
ハンドバッグ強盗、トリック窃盗犯はものすごく巧妙です。盗まれたことにはおそらく全く気が付きません。

公共の場では、ハンドバッグ、ショルダーバッグはボタンやファスナーを閉めて前に掛けるか脇に挟んで抱え
て下さい。

人混みの中ではリュックサックは身体の前面でぶら下げて下さい。リュックの外ポケットに入れた貴重品は容
易な餌食です。

盗まれたときに知っておくべきデータ

クレジットカード番号、カードセキュリティコード、口座番号、銀行コード番号。携帯電話の重要な番号: SIM
カード番号（テレフォンカード）、IMEI番号（携帯電話の製造番号 - アクセスキー: *#06#）、遠隔ロックと
方向探知用アクセスデータ（携帯電話ソフト要）。

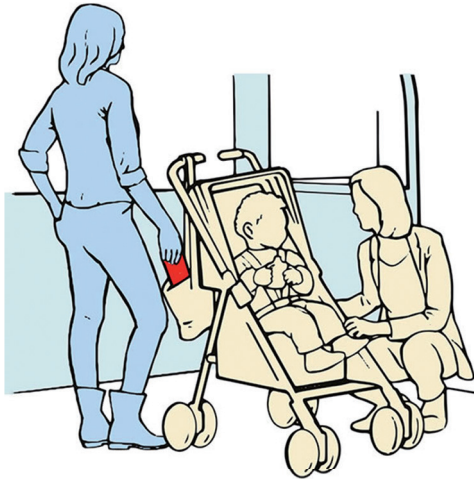
重要な電話番号

キャッシュカード、携帯電話ロック電話番号
一括停止サービス緊急電話番号： 116 116
警察緊急直通電話番号: 110



目立たずに忍び寄る

犯人は、被害者が他に気をとられている状況を利用して巧妙に貴重品を盗む。



押し合いや突き合い

バスなどに乗る際や、商店の入口、または人混みの中で「火付け役」が急に前方に立ちふさがり、押し合いを発生させようとし、その間に実際の窃盗犯がバッグやポケットから財布などを抜き取る。



隠された手

犯人はコート、新聞、バッグなどの物を使って盗みを隠す。



狙われやすいTPO

犯人は、店内、レストラン、バスなどでバッグを置いて目を離したり、椅子の背に掛けるシチュエーションを狙う。

注意を逸らすトリック

トリック窃盗犯はグループで「仕事」します。「注意逸らし担当」が被害者の注意を自分へと向ける間に窃盗犯がバッグまたはポケットから財布などを抜き取り、仲間がすった財布などを受け取って気付かれないように逃げます。

犯人が頻繁に用いる注意逸らしの手口:

- 地図を目の前につき出して道を聞く。
- 衣服にシミ・汚れを付けた後、すぐに拭き取りの援助をする。
- 見知らぬ人が両替を頼む。
- 見知らぬ人が親切そうに話しかけてくる。



銀行の顧客を狙う

犯人は現金自動支払機を観察し、現金を引き出したばかりの顧客をじっと窺い、被害者がどこにお金をしまったかを熟知してしまう！